

常に機嫌よく（年度初めの学校長メッセージ）



重枝 一郎（しげえだ いちろう）（数学科・サッカー）

【経歴】

福岡市立中学校教諭・指導教諭，福岡市教育委員会教育センター主任指導主事，民間企業経営研修（1年間），福岡市立中学校長，福岡市立福翔高等学校教頭・副校長を歴任し，昨年度より福岡女学院中高校長。

これまで，福岡市中学校サッカー選抜チーム監督。アビスパ福岡スーパーバイザーとして「コミュニケーションスキルアップ講座」の講師。福岡県市民教育賞「班形態を生かした集団づくりの実践」。自ら代表，講師を務める教育研究団体「風土会（生徒指導総合講座）」や福岡県内の小中高・地域などへの研修会講師等はこれまで約400回を数える。

【主な著書等】

「Teacher's Teacher 1・2」（とうか書房）（2009，2011）

「実践！校長塾」（週間教育資料）（2020）

「ALの3つの柱を意識した授業づくりとその波及効果」（啓林館）（2017）

「いじめ防止シンポジウム（FBS・TV）」

「いじめ問題九州のこれから（NHK・TV）」

「学ビバFUKUOKA（福岡市・県・北九州市・公立高校PTA 連合協議会）」

「ロクいち福岡 生徒指導総合講座（風土会）」（NHK・TV）

「常に機嫌よく」

私は、校長として先生・生徒一人一人の可能性を信じ、それぞれの可能性を顕在化することができたらいいと強く思っています。校長のリーダーシップなど先生方の足を引っ張ることになるだけです。先生方がフラットでフレキシブルな関係の中で、教育活動をしていく学校にしたいと思っています。そして、そこで得た生徒の成長に大きな喜びを感じ、それを同僚と分かち合い、誰にとっても、学びと成長の場になることが、この学校を託された者としての考えです。

この変化の激しい予測困難な時代の私の役割は「責任は私がとるので、先生方は安心してチャレンジしてください」と意思表示することだけです。そして、みんなで走りながら考えればいいと思っています。私は5割くらい考えたら、あとはみなさんに任せるやり方を心がけたい。これまでもそうしてきましたが、そうすると結果はよい方向に裏切られることばかりになります。そのためにも、私が心掛けていることは、平凡と思われるかもしれませんが、「常に機嫌よくしておく」ことなのです。誰かの不機嫌は必ず他の誰かに伝播し、その影響は生徒にも及びます。また、これからの社会は、持続可能な社会を目指すことになるでしょう。そのため大切なのは、多様性を認めることなのです。

つまり、学校は、持続可能な社会の縮図でなくてはなりません。先生方が息苦しくなく、お互い認めていくことが、生徒を生き生きとさせる学校になると思っています。先生方は、この教育改革の当事者として各々がリーダーシップを発揮し、この時代を明るく堂々と生き抜いていただきたい。

そして、私は、本学院のステークスホルダー（保護者・地域等本学院に関わる全ての人）のみなさんとは、友だちでいたいと思っています。その願いが叶うならば、元気にやっていける気がします。よろしくお願いします。

（学校長 重枝 一郎）